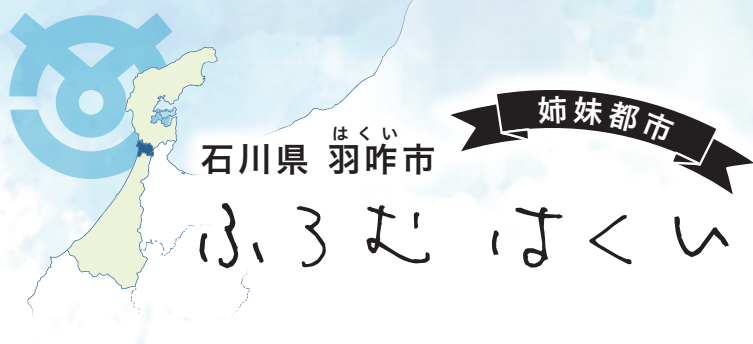




石川県 羽咋市

姉妹都市

ふくむはくい

神輿を乗せ、勇壮に進む御座舟



勇壮に受け継がれる伝統

川渡し神事が観衆魅了

9月13日、羽咋神社の秋季祭礼が行われ、伝統の川渡し神事が長者川で営まれました。

羽咋神社の祭神・磐衝別命が、妃・三足比咩命を祭る八幡神社に会いに通われたことを再現しているともいわれています。

羽咋神社から担ぎ継いできた神輿が、紺谷橋のたもとで御座舟に乗せられると、松明とちょうちんの明かりで幻想的な雰囲気包まれる中、御座舟は川を往来。そして、大勢の人が見守る中、神輿は舟から八幡神社に担ぎ込まれました。

勇壮な光景に、見守った観衆からは大きな拍手と歓声が沸き起こりました。

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～

【問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)】

No.112

前任の教頭2人は着任時にはまだ20代の気鋭の学者・教育者でしたが、3代目の日下部隼太郎はすでに10年程の経験を積んだ中堅の研究者・教育者でした。

明治25年7月に東京帝国大学農科大学農学科第一部を卒業後、和歌山県尋常中学校と秋田県尋常中学校・簡易農学校で教壇に立ったほか、奈良県添上郡奈良町外五十町村組合巡回教師(現在の奈良市周辺)、福井県と石川県の農事巡回教師(福井県では簡易農学校教諭兼任)を経て、新設の秩父郡立乙種農業学校(現埼玉県立秩父農工科学高校)に招かれ、34年3月から翌年7月末まで学校長兼教諭を務めました。

高山社蚕業学校では明治37年7月から教頭兼教諭を務め、修身・農学・博物学・化学を教授しました。在任中は、「私立甲種高山社蚕業学校教頭」の肩書で出版活動に関わることも多く、同僚の高橋清七の名著である「高山社蚕児飼育

3代目教頭 日下部 隼太郎

～高山社蚕業学校盛時を支えた教育者～

法」や木暮泰三郎の「実用蚕病消毒自在」、かつて高山社伝習所に学んだ石田孫太郎との共著「養蚕豊作改良蚕室法」などに関わりました。これは、高山社蚕業学校がブランドとして有用であったことの証しと言えます。また、校内においては、「責善会」という団体の会長を務め、「責善会雑誌」を発刊しています。

大正元年に退任した後は、東京の民間企業役員を務め、9年4月から13年10月まで、十津川中学校文武館(現奈良県立十津川高校)で英語教育にあたりました。その後の足跡は不明ですが、「東京帝国大学卒業生氏名録(昭和25年刊)」でも死亡者を示す印はなかったため、長寿を全うしたと考えられます。



高山社蚕児飼育法

教えて! 消費生活

「〇〇ペイで返金します」に注意!

Q ネットショッピングで商品を購入し、銀行振り込みで支払った。その後、「在庫がないので〇〇ペイで返金します」との内容で、無料通話アプリで友達登録をするよう指示があり、アプリで指示をされるがまま、言われた数字を〇〇ペイに入力した。その結果、数十万円を送金しており、販売業者と連絡がつかない。返金してほしい。

A 返金をするふりをして、送金をさせる手口の詐欺かもしれません。販売業者から「〇〇ペイで返金します」と言われたら詐欺を疑いましょう。ネットショッピングの商品代金を銀行振り込みで支払っているにもかかわらず、支払いに用いていないコード決済アプリで返金を行うのは極めて不自然です。相手から、「〇〇ペイで返金します」と連絡が来たら、相手の指示には従わず、消費生活センターに相談してください。送金後は事業者と連絡が取れなくなることが多く、支払ったお金を取り戻すことが非常に困難になるため、注意が必要です。

被害に遭ってしまった場合は、直ちにコード決済サービス事業者に申し出るとともに、速やかに警察に届け出ましょう。

消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用 201133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時～午後4時

ふじおか

防災トピックス

Fujioka Disaster Prevention Topics

大切なペットを守るために 日頃から備えましょう!

災害時に自分や大切な家族を守るのは知識と備えです。「ふじおか防災トピックス」では、知っておきたい災害の知識やもしもの時にやるべき事など、いざというときに役立つ防災情報をお知らせしていきます。

【問い合わせ 地域安全課 (☎27444)】

災害時には、人だけでなく動物も被災します。災害が発生したら、まず飼い主自身の安全を確保してから、ペットの安全を確保しましょう。避難が必要な場合は、飼い主がペットと一緒に避難所まで移動する同行避難が原則です。

いざというときに慌てないように、ペットを守るのは飼い主であることを再認識し、日頃からの備えをしましょう。

日頃からの備え

◆飼い主の明示

災害時は、ペットと離れ離れになってしまうこともあります。はぐれてしまったペットが飼い主の元に戻るよう、飼い主の明示をしましょう。



◆ペットのための備蓄品

避難所には、ペット用品の備蓄はなく、支援物資が届くまでには相当の日数を要します。そのため、少なくとも5日以上分の物資を準備しましょう。

◆健康管理としつけ

体の清潔を保ち、ワクチン接種やノミなどの寄生虫の駆除を行いましょう。

また、ほかの避難者への迷惑防止とペット自身のストレス軽減のために、基本的なしつけをしておきましょう。ケージやキャリーバッグに慣らしておくことも大切です。

【ペット備蓄品の例】

- ▷フード・水・食器 ▷常備薬
- ▷ケージ・キャリーバッグ ▷首輪・リード
- ▷ペットシートなどのトイレ用品
- ▷飼い主の連絡先やペットの情報を記録した物